

クリスロード商店街



片倉小十郎景綱

まさか、重綱と商店街を歩く日がこよとは、夢にも思わなかったのう



片倉小十郎重綱

さらに、ひとつの時代の終わりと幕開けを共に迎えられるとは、ありがたいことですね、父上



ところで重綱、この商店街の映画館があった場所に、新しく「劇場」ができたらしいのだが、お主は知っているか？ 恥ずかしながら、わしは知らぬのだが……



いえ、儂も存じませぬ。誰も知らない「劇場」があるとは、まさしく謎ですな

三瀧山不動院

「三瀧山不動院」は慶応元年(1865年)から仙台市の商業の中心地に鎮座し、開運、家内安全、商売繁盛が祈願される寺院で、大日大聖不動明王がご本尊とされています。また、開運を呼ぶ福の神、「仙台四郎」が祀られていることで古くから市民に親しまれています。最近では外国人観光客の方も参拝に訪れるスポットになりました。



三瀧山不動尊奉納夏祭り

毎年恒例の夏祭り、宵祭り和本祭りが行います。宵祭りではクリスロード商店街のアーケード内に仙台四郎の山車や神輿を陳列するほか、各店舗さんのワゴン販売、子供縁日で賑わいます。翌日の本祭りでは、お神輿が各商店街を巡り街を盛り上げます。



クリスロードの由来

「クリスロード(CRIS ROAD)」は「Creative Life In Shopping」(クリエイティブ・ライフ・イン・ショッピング)の頭文字を取り、「road」(ロード)を合わせた造語です。平成4年に「いい気分が過ぎず街、生活創造ストリート」をコンセプトに上げて、新しいアーケードの完成とともに新しく名付けられました。



新伝馬町

荷物を出発地から目的地まで、同じ人や馬が運ぶのではなく、宿場ごとに交代して運ぶという方法を「伝馬制」といいます。藩政時代、公的な書状や荷物の輸送のために馬や人足が置かれて、国分町や北目町に続いて、「伝馬役」という役割を果たすようになったので、新たな伝馬の町、新伝馬町(しんてんまち)と呼ばれるようになりました。

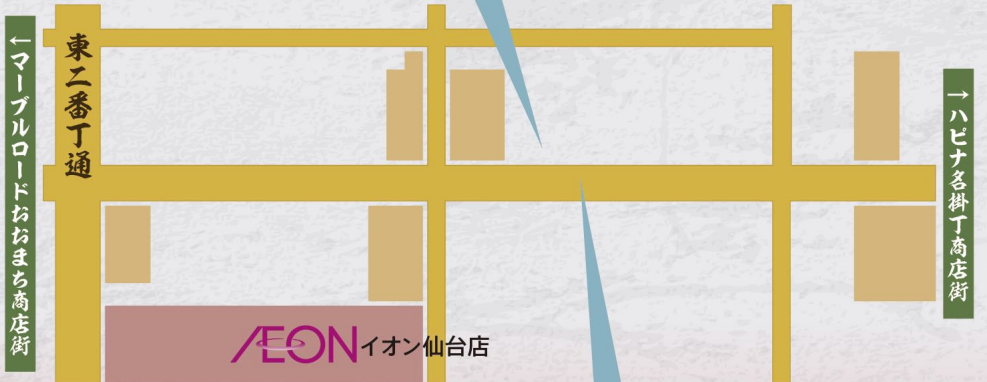


クリスロード誕生祭

毎年3月に開催されるクリスロード商店街のお祭りです。物販や展示、コンサートなど毎回テーマを設けたブースが誕生祭を盛り上げています。



伊達三郎・智の武将
片倉小十郎景綱



仙台四郎

仙台四郎は明治時代に実在した人物で、少し知能の発達が遅れた方でした。しかし、彼が立ち寄るお店はたちまち繁盛し、彼が抱っこした子供はすくすく育った、というので、彼のことをみんな「福の神」と呼んだそうです。



路上の銅板

当時の中央二丁目青年向上会(現クリスロード青年向上会)が、設立45周年を記念し、昭和59年に新伝馬町と示したブロンズ板の旧町名碑を設立しました。



仙台七夕まつり

毎年8月6日から8日の3日間で約200万人の観光客が楽しんでいく、仙台を代表する夏の風物詩です。仙台伝統の七夕飾りは、各商店街のお店が中心となって繊細な職人技を活かして作る豪華絢爛な和紙飾り。15m級の孟宗竹に吊るされ街を彩ります。開催初日には、審査員の面々が各商店街へ直接出向き、飾り付けの評価を行い、午後には個人・団体それぞれに金、銀、銅の各賞が発表されます。賞を獲得した竹には大きな入賞短冊が取り付けられるので探してみよう。



劇場がある建物の入り口へ向かえ。劇場の名前の上にある図形を確認したら、その図形を作り、示された場所の文字を上から読め。

クリスロード商店街の謎の

答え

13

14

15